

優良図書等の推奨の推薦申出に関する要件等の案について

1 現行の条例及び事務取扱要領、審査基準（資料 3, 5, 6）における現状

- ・ 優良図書等の推奨の推薦申出に関する推薦者要件や推薦数の上限等は定められていない。
- ・ 同一の者から複数の申出がなされ、特定の出版社や著者の書籍等ばかりが推奨となる可能性があり、優良図書等の選定にかかる公平性が失われるおそれがある。
- ・ 本県に関連を有するものの申出が少ない。

2 申出に関する要件等の案について

現状を踏まえ、事務局において検討した案は以下のとおり。

【資料 5 事務取扱要領の改正案】

①推薦数の上限について

- ・ 同一年度に申し出ることのできる推薦数は、1 推薦者につき 1 点とする。

②推薦者の要件について

- ・ 推奨の推薦者は、県民または県内に所在地を有する法人又は団体等に限る。

【資料 6 審査基準の改正案】

③推奨の対象から除くもの

- ・ 特定の人物又は企業の利益のための宣伝を意図したもの

④推奨の対象とするもの

- ・ 発刊されてから●年以内のもの
- ・ 図書館で利用でき、又は適当な価格であるなど、一般的に容易に入手でき、又は利用できるもの
- ・ 秋田県及び秋田県出身者を題材にし紹介した内容のものや、著者等が秋田県出身者であるものなど、秋田県に関連を有するもの

※ 3 つ目は、審査基準に同様の項目がありますが、本要件は推奨の対象を秋田県に関連を有するものに限るという趣旨の要件となります。